

2027年度
開設を目指して
新設学部

未来探究科学部・教育学部

9学部15学科を改編し、新たに2学部2学科を設置構想中



当日は、宮城県内外の報道各社十四社が参加し、現行の九学部十五学科を改編して、新たに二学部二学科を設置構想中であることを発表された。

部(仮称)設置準備委員長の四名が登壇。大西学長はあいさつの冒頭、二〇二三年度の五橋キャンパス開学および四学部五学科設置後の取り組みや本学が置かれている状況などについて説明。また、新設学部を設置

教学組織改編構想に関する 記者発表会を開催

五月二十日、二〇二七年度に予定している教学組織改編構想の計画に関する記者発表会が五橋キャンパスで開催された。



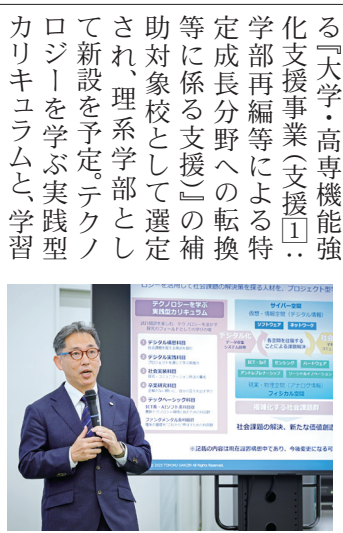
構想中であることに對し、東北における社会課題にも触れ「人口減少が進み、地域創生や防災・減災、一次産業の振興が課題になっている。技術と教養を身に付け、未来に向けてチャレンジする人材を育てていきたい」と新学部設置への意気込みを語った。村野井副学長からは、二〇二七年度新設に向けて設置構想中の「未来探究科学部デジタル構想学科(仮称)」、「教育学部教育学科(仮称)」を含めた教学組織改編構想の趣旨と概要を説明。この他にも、数学やデータ分析、人工知能(AI)について学ぶ教育プログラム「MDASH(数理・データサイエンス・AI教育プログラム)」や、二〇二六年度より情報学部

の導入する予定であることなど、急速に進むデジタル化社会において求められる人材育成への取り組みを発表した。

2027年度開設予定の新学部学科について

未来探究科学部 デジタル構想学科(仮称)	
入学定員	110名(予定)
学位名称	学士(デジタル構想学)
特 色	①防災・減災、一次産業、少子高齢化、地域活性化などの日本・東北が直面する課題に対してデジタルテクノロジーを活用して解決策を探る人材を養成するための教育課程を編成 ②課題解決立案・実践型のプロジェクト型学習(Project-Based Learning)を重視 ③独立行政法人大学改革支援・学位授与機構が公募する大学・高専機能強化支援事業の補助対象校として選定
卒業後の進路など	情報・通信業、製造業、システムエンジニア、デジタルインフラ、起業家、コンサルタント、公務員、NPO職員、大学院進学
教育学部 教育学科(仮称)	
入学定員	100名(予定)
学位名称	学士(教育学)
特 色	①新たに中学校・高等学校の国語および理科の教員免許状が取得可能 ②児童教育コース、国語教育コース、理科教育コース、英語教育コースおよび教育文化コースの5つのコースを設け、小学校教諭一種免許状をベースに複数の教員免許が取得可能な教育課程を編成 ③教育を学校教育に限定せず幅広く学ぶ教育文化コースを設置
取得できる免許状	小学校教諭一種免許状、中学校・高等学校教諭一種免許状(英語)に加え、国語と理科の教員免許状を予定
卒業後の進路など	小学校教諭、中学校教諭、高等学校教諭、図書館司書、社会教育主事、学芸員、NPO職員(教育関連)、一般企業(教育関連)、マスコミ、公務員、サイエンス・コミュニケーター(科学館など)、大学院進学

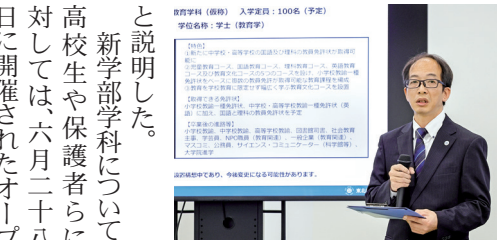
※記載の内容はすべて現在設置構想中の計画で、今後変更になる可能性があります。



「大学・高専機能強化支援事業(支援I)」、学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援」の補助対象校として選定され、理系学部として新設を予定。テクノロジーを学ぶ実践型カリキュラムと、学習

※記載の内容はすべて現在設置構想中の計画で、今後変更になる可能性があります。

者中心のプロジェクトによる課題解決型学習(Project Based Learning)を重視している。デジタルテクノロジーを活用して、防災・減災、一次産業少子高齢化といった日本および東北が直面している社会課題の解決策を構想する人材の養成を目指し、教育課程の編成を構想している」と説明した。大迫委員長は教育



大学宗教主任 田島 卓

私が生き物を見ていると、四つの顔がある生き物の傍らの地の上に、それぞれ一つの車輪があった(一)それらには外輪があり、高くて恐ろしかった。外輪の周りは、四つとも目で埋め尽くされていた。

エゼキエル書一章一五、一八節

人と共にいるために姿を変える神

四つの車輪があつて、それが目で埋め尽くされているとは、なんとも不気味な描写です。これは一体何なのでしょう。

この文書を書いたとされるエゼキエルはもともとエルサレムの神殿で祭司の家系に生まれたと言われていて、ところが、エゼキエルの時代、国際関係は極めて不安定な状況を迎え、各国のパワーバランスは急速に崩れていきました。そうしたなかで、エルサレムはバビロニアに侵襲され、エゼキエルはバビロニアに強制連行されることになってしまいました。

さて、エゼキエルの時代、神は、エルサレムの神殿でのみ顕れるのだと考えられていました。そして、祭司は神が顕れるエルサレムの神殿でこそ、祭司としての仕事ができます。裏を返せば、エルサレムの神殿でなければ、祭司は祭司としての仕事ができません。つまり、エゼキエルは故郷から引き離されてしまっただけでなく、自分が一番できたはずの仕事もできず、まったく無力な気持ちになっていたと考えられます。なにより、つらいときに最後に頼ることができるような神は、このバビロニアのケバル川のほとりには顕れるはずがない、というのが当時の人々の常識だったので、エゼキエルは、何にも頼ることができないという絶望感を抱いていたのだと思います。そんなエゼキエルの見た幻が、先ほどの幻でした。

聖書を読んでも、イザヤ書六章に登場する天使と、エゼキエルの見た四つの生き物は、どこか似ています。エゼキエルが見た四つの生き物は、おそらく天使なのでしょうが、イザヤが見た故郷エルサレムの姿とは異なっています。

最近の研究者は、人、獅子、牡牛、鷲という四つの生き物が、古代バビロニアでは、春夏秋冬の四つの季節や、東西南北の四つの方向に対応する生き物として考えられていたようだ、ということを描きました。そして、バビロニアの宇宙観では、地球が車輪で、そこに開いた目として星が描かれているのです。エゼキエルが見た天使の姿は、バビロニア風の姿で現れた天使なのですね。

つまり、神はこんなところにいるはずがない、神はこんな姿で現れるはずがない、という思い込みを破り、予想外の姿をとって、難民となった人々のもとに顕れるのだと、エゼキエルは告げているのです。そして、悩める人と共にいるために、神は率先して、かくあるべきという姿を捨て、自らの姿を変えて地に下るのです。



6月・7月合併号

発行
学校法人 東北学院
〒980-8511 仙台市青葉区土樋一丁目3番1号
電話 022-264-6423
FAX 022-264-6478

編集兼発行人 原田 善教
編 集
法 人 事 務 局 広 報 部

お電話相談窓口はこちら
大学・大学院 ☎022-
学長室政策支援IR課
(調査依頼・各種補助金) 264-6424
アドミッションズ・オフィス
(受験相談・資料請求) 264-6455
学生課
(学生生活相談・奨学金) 264-6471
教務課
(成績・各種証明書発行) 264-6451
就職キャリア支援課
(求人依頼・就職相談) 264-6482
財務課
(学納金・寄付申込) 264-6441
研究支援課
(公開講座・講演会) 264-6430
大学院課
(大学院相談) 354-8202
中学・高校 ☎022-786-1231
櫛ヶ岡高校 ☎022-372-6611
幼稚園 ☎022-368-8600

ご購入のお申し込み・同窓生の住所変更、同窓会開催のご連絡は校友会へ
☎022-264-6468
振替口座 02240-9-883



聖書のことば

私が生き物を見ていると、四つの顔がある生き物の傍らの地の上に、それぞれ一つの車輪があった(一)それらには外輪があり、高くて恐ろしかった。外輪の周りは、四つとも目で埋め尽くされていた。

エゼキエル書一章一五、一八節